



TANGALOOMA
ISLAND RESORT
Moreton Island, Qld, Australia



タンガルーマ・アイランドリゾート

自然環境学習「エコスタディ」
教育旅行のご提案

オーストラリア ブリスベン モートンアイランド

エコスタディツアー オーストラリアの大自然を体験学習 ブリスベン沖の国立公園モートン島 タンガルーマ

日本人学生の海外研修旅行先として人気のオーストラリア。タンガルーマ・アイランドリゾートは、クイーンズランド州の州都でありオーストラリア第3の都市ブリスベンの沖合 35km にある国立公園モートン島の中心に位置しております。モートン島は世界で3番目に大きい砂島としても知られており、そこに広がるエメラルドグリーンの海にはイルカ、ジュゴン、クジラ、ウミガメといった海洋生物が生息し、島内には美しい広大な白い砂丘が点在。ブリスベン国際空港には日本からも直行便就航もあり、このような大自然が残る環境でありながら大変アクセスの良いロケーションにあります。

リゾートはブリスベン港からフェリーに乗船して約 75 分、大型団体を受け入れ可能な約 300 部屋の宿泊施設や食事会場も完備しております。ご滞在中に体験頂ける豊富なアクティビティには、日本では体験できない野生イルカへの餌付けプログラム、ジュゴン探しクルーズ、クジラウォッチクルーズ、砂丘での砂滑りツアーなど、豊富な自然体験アクティビティも取り揃えております。

学習素材ではタンガルーマ・エジュケーション&コンサベーションセンター(TMECC)がリゾート内に設置されており、そのセンターに在籍するエコレンジャーガイドが海洋生物や自然環境について学習する「エコスタディプログラム」を行っております。「エコスタディプログラム」は、小学生向けの講義から大学生向けの講義までと、多彩で幅広いプログラムを用意しており、文科省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校といった学習要素の求められる学校の受け入れも行い、近年は持続可能な開発目標 SDGs についての学習プログラムも取り入れており、国立公園内のリゾートがビジネスと環境保護を持続的に行うためのリゾートの取り組みを紹介するプログラムや、環境保護を課題とした探求学習向けプログラム向けにオンラインで事前に SDGs の講習を行い、現地に訪れて英語で発表体験をするというコースもご提案しております。

タンガルーマ・アイランドリゾートにはオーストラリア国内の学校を始め、日本、アメリカ、中国、ヨーロッパ、南米など世界各国からの学生団体が訪れてエコスタディプログラムをご体験いただいております。これまでに年間約 20,000 人受け入れ実績もございます。



QR スキャン、またはクリックで
タンガルーマ教育旅行ホームページへ
教育旅行向け動画あり



エコスタディプログラムの紹介

Dolphin Feeding:



<野生イルカ餌付け体験>

タンガルーマ・アイランドリゾート滞在でのハイライトは何と言っても日没時に毎日リゾート前の浅瀬に集まる野生のバンドウイルカ達に直接お客様が餌を与える体験です。定期的に訪れる約 10 頭のイルカたちはとても遊び好きで、それぞれ個性があり性格も違い、イルカ達全員には名前も付けられています。餌付け前にはスタッフからイルカ餌付け方法についてのブリーフィングに参加して頂く必要があります。

Moreton Bay Marine Animal & Conservation Presentation:



<モートンベイ海洋生物 & 自然環境保護プレゼンテーション>

この海洋生物プレゼンテーションでは、モートン湾に生息する様々な海洋生物を紹介していきます。その生物がどのようにこの自然環境に対応しているか、絶滅危惧される生物がどのような環境下で生息しているか、モートンベイの自然環境破壊保護なども交えて説明します。この学習でタンガルーマの近くや、クィーンズランド州東部で生息する生物達を勉強しましょう。

Geomorphology Presentation:



<モートン島地質学プレゼンテーション>

世界で3番目に大きい砂から形成されたモートン島について地学的観点から学習します。オーストラリア東海岸からクィーンズランド州南東周辺の地形、歴史、過去の火山活動、砂島特有の地形変化など、モートン島が砂から形成された理由や、砂島独自の自然メカニズムを学びます。

Tangalooma SDGs Presentation and Walk:



<タンガルーマ SDGs プレゼンテーション&ウォーク>

国立公園内でタンガルーマ・アイランドリゾートがビジネスと環境保護活動を持続的に行うための取り組みを SDGs に当てはめて紹介するプログラム。簡単なプレゼンテーションで取り組みを紹介、その後は実際に行っている現場をウォーキングで見学します。

<タンガルーマの SDGs 取組みの一例>

- リゾート周囲の自然環境保護
- リゾートからの汚染・排出物を最小限に抑える
- 野生動物との経験を通し保護活動の大切さを広める
- タンガルーマ海洋教育 & 保護センター (Eco Centre) 運営
- タンガルーマ・エコマリーンの運営・教育サポート CSR 活動

Discover Dolphins Presentation with Data Collection:



＜ディスカバリードルフィンプレゼンテーション&データコレクション＞
毎晩訪れるイルカ達の家族関係や、特徴、習性をプレゼンテーションでご説明いたします。その後はリゾート桟橋より野生イルカ餌付けで実際にイルカの背ビレなどの各部位の特徴や餌付け中の行動から、イルカたちを識別していきます。

Bush Tucker Eco Walk:



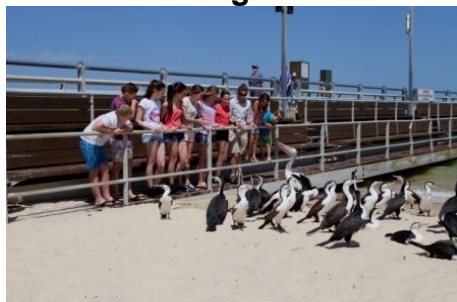
＜ブッシュタッカー・ウォーク＞
モートン島に自生している64種類以上の植物、モートン島先住民の人達が実際にどのようにその植物を食料・薬品・生活用品として使用していたかをガイドが歩きながら説明します。リゾート内に自生するその植物を实际歩いて、見て、触って、時には味見もして、先住民の生活スタイルや、自然でのサバイバル方法についても学習します。

Back of House Tour:



＜バックオブハウスツアー＞
エコツーリズムを学習できるウォーキングツアーです。リゾートはオーストラリア大陸より離れた国立公園内に位置し、電気供給、上下水道などのインフラを全て自社で運用しております。このツアーでは通常は立ち入り出来ないエリアに入り、リゾートの裏側をご案内します。美しい海と自然を保全するためのバクテリアを利用した下水処理や、自家発電所、その発電で発生した熱の再利用など、エコツーリズムの裏側を学習して頂きます。

Pelican Feeding:



＜ペリカン餌付け見学＞
野生ペリカンを観察しながら海の野鳥達を学びます。エコレンジャーガイドが海鳥達の習性、繁殖方法、海での行動を説明します。この学習で環境破壊から海鳥達の保護について考える機会になります。

Kookaburra Feeding:



＜クッカバラの餌付け見学＞
リゾートに生息するワライカワセミと言われるクッカバラをエコレンジャーガイドと探しに出かけます。クッカバラは野生に生息している為に遅刻するときや現れない時も良くありますが、リゾートを歩きながら散歩がてら出掛けましょう。餌付けはガイドがクッカバラに直接手で行います。

Marine Discovery Dugong Cruise:



<マリンディスカバリー・ジュゴンクルーズ>

モートン島の西海岸をゆっくりとクルーズしながら、本物のワイルドライフを体験して頂きます。モートン湾浅瀬に生息する野生のジュゴン、イルカ、ウミガメ、エイなど、様々な海洋生物や鳥達を探索、その自然界での生活する姿を観察。クルーズにはガイドも同行して生物達の説明もございます。参加者には実際にワイルドライフを体験し、そして素晴らしい海の仲間たちを将来どのように保護していけるかを学習頂くのも目的であります。

Desert Safari & Sand Tobogganing Tour:



<デザートサファリツアー>

タンガルーマデザートは42ヘクタールにも及ぶ広大な砂丘です。この砂滑りツアーでは、海岸近くに来た砂丘が変形してできた砂の島の事、砂の種類、そこに生息する植物や、なぜオーストラリアの東海岸に世界でも最大の砂の島が出来た理由などを勉強しながら、バスで砂丘へ向かいます。その後は砂丘で、ボードにのりスリルのある砂滑りを大胆に楽しみましょう。

Starlight Tour:



<リゾート星空観測夜行性動物散策>

リゾート内に生息している野生動物を懐中電灯を片手に、エコレンジャーと探しに行くナイトウォーキングツアー。日中はあまり姿見ることはありませんが、リゾート内には、ポッサム、シュガーグライダー、フクロウなどが生息しています。

Tangalooma Field Work - Scavenger Hunt:



<タンガルーマ・フィールドワーク - クイズ選手権>

タンガルーマやモートン島、環境保護に関する質問やクイズをお渡しして、チーム単位でリゾート内にて答え探しを行って頂く団体向けプログラムです。1チーム 2-5 名位に分かれて規定時間内にリゾート内にて答えを探して頂きます。英語を駆使し、知力・体力も使いますが、正解率が高いチームに景品をご用意することも可能です。

オンライン利用のプログラム



オンラインでの「事前学習」プログラム - 「SDGs 持続可能な自然とエコリゾートビジネスの共存共栄」



タンガルーマは国立公園内にて自然界とリゾートホテル経営が共存共栄できる、持続可能な取組みを長年に渡って行っており、その自然環境や生物を守りながらのビジネスの運営、そして共存共栄の舞台裏を SDGs 11 番、12 番、13 番、14 番にあてはめてご紹介していきます。こちらのプレゼンテーションはオンライン限定で、日本人スタッフが日本語で講義を行います。

- 講義時間約45分(リゾート紹介動画、質疑応答時間含む)
- セミナー講師:タンガルーマ・アイランドリゾート 日本人スタッフ
- 講義受付日時:オーストラリアの平日 11時から16時
- オンライン対応ソフト:マイクロソフト Teams もしくは Zoom



オンラインでの「教育旅行向けオンラインミーティング」



「海外研修旅行のミーティングを、オンラインで行いませんか？」日本人営業スタッフがオンラインを通してタンガルーマの施設やアクティビティについてご案内します。ご希望研修内容をお伺いし、目的にあったコースをご提案させていただきます。

- 下見時間約30-60分
- 対応スタッフ:タンガルーマ 日本人営業スタッフ
- 講義受付日時:オーストラリアの平日のみ
- オンライン対応ソフト:マイクロソフト Teams もしくは Zoom

タンガルーマ・アクティブチャレンジ 英語で「環境系」探求学習の発表体験

日本人がこれからグローバルでの活動に向けて必要な「英語での表現力」を身につけるためのプログラム。日本で身近な環境問題についてリサーチなどの探求活動や事前学習を行い、海外研修中にタンガルーマでの発表に向けてプレゼンテーションを英語でまとめ、発表を全て英語で行うワークショップ体験プログラム。当日のリスナーである審査員はエコセンターのエコレンジャー講師が行い、質疑応答もすべて英語で行って頂きます。発表はパワーポイントを使い審査員から各プレゼンテーションへのフィードバックも行います。「環境問題」という課題と発表の持ち時間以外は特に決められたフォーマットはなく、発表するフォーマットは参加者独自のアイデアで作成してください。発表は参加者一人一人が行うのではなく事前に課題研究とプレゼンテーションを作成したグループ単位で行います。1グループあたりの人数は参加者側で決定して頂いてかまいませんが、1回あたりの発表する目安として1グループ5-6人くらいが理想です。発表時間配分は1グループ15分(10分発表、5分質疑応答)として、例えば1時間のセッションで行う場合には最大4グループが目安になります。

〈課題:環境問題系〉

日本での環境問題を海外に発信 — 地元・身の回りで起こっている環境問題や解決へ取組みを発表

発表課題構成の例:

- 地元の公害や汚染問題
- 環境や野生生物への影響
- 問題の改善案とその取組み方法

発表時間配分: 1グループ 15 分(目安)



オーストラリア現地企業訪問プログラム

タンガルーマ・アイランドリゾートでは、教育旅行団体向けにリゾートへの出発前又は訪問後に、ブリスベン港の近くにあるタンガルーマ本社オフィスでの企業訪問をお受けしております。

移民が多い多国籍の文化のオーストラリア、オーストラリア企業のタンガルーマでも多国籍のスタッフが働いております。タンガルーマ本社には総務、アカウント、IT、リザーベーション、セールス&マーケティングなどの本社機能の部署があり、企業訪問時には弊社日本人スタッフがオフィス内をご案内、日本人スタッフのよるオーストラリア企業での体験談や失敗談などを交えた意見交換をする時間を設けます。

訪問受入可能日:	オーストラリア・ブリスベンの平日 週末、祝祭日、クリスマス、イースターなどの祝日不可
訪問受入条件:	リゾートにて宿泊が伴うご予約された団体に限る
受入人数:	最少 10 名、最大 30 名
所要時間:	30 分から 45 分間

※受け入れ条件などが変更になる場合がございますので、事前に一度ご確認下さい。



オフィス内

「環境保護・探求学習向け」タンガルーマ・エコマリーンズ・チャレンジ

タンガルーマでの環境学習と自然体験を総合的な「**探究学習**」の一部に取り入れてはいかがでしょうか。

このプログラムは、タンガルーマが CSR と SDGs 活動で現地校をスポンサーするタンガルーマ・エコマリーンズのよ
うな探求学習の取組みを、日本を含む海外からの学生の方々にも広げ、環境保護の大切さを世界に広げて
いくことを目的としております。



＜タンガルーマ・エコマリーンズとは＞

2014 年よりオーストラリア・ブリスベン地区を中心に現地ジュニア・シニアスク
ール(小中高)72校、現地政府・民間企業8社(2021年9月時点)と提
携して、環境を守るための活動を行う NPO (非営利団体)。各学校に「エコ
アンバサダー」と呼ばれる生徒が選抜され、エコアンバサダーは学校やその地
域で生徒が主体的に環境保護活動を行い、学校でリーダー的役割を果た
す探求学習的なプログラム。タンガルーマアイランドリゾートの CSR および
SDGs 活動の一つであり、スポンサーとしての運営資金や情報提供の他、団
体運営と学生への教育サポートも行っております。

＜タンガルーマ研修のポイント＞

こちらの資料に紹介されているタンガルーマの各種プログラムを海外研修に取り組むことにより、総合的な探究
の時間として「生物・環境学習」、「国際理解」、「英語でのコミュニケーション」、「社会貢献」といった、教科等
横断的な学習を組み込むことが可能です。そして海外研修という行事を動機付けにして、生徒自身の主体
的・対話的で深い学びにつなげていけることが狙いです。

海外研修までの事前学習(旅マエ)

- 海外研修の事前学習として SDGs オンライン講習
- 自然・環境保護を探究課題にプロジェクトチーム編成
- タンガルーマで英語を使つての研究課題発表方法選択とその準備
- 現地校エコマリーンズの運営スタッフの活動内容と体験談を動画で視聴

現地タンガルーマ体験学習(旅ナカ)

- エコスタディ環境学習でインプット
- 大自然体験アクティビティでインプット
- 英語で現地スタッフとの対話や課題発表でアウトプット

海外研修後(旅アト)

- 海外研修を終了してからの振り返り、さらなる課題への探究と行動

＜タンガルーマの SDGs 取組みの一例＞

- リゾート周囲の自然環境保護
- リゾートからの汚染・排出物を最小限に抑える
- 野生動物との経験を通し保護活動の大切さを広める
- タンガルーマ海洋教育 & 保護センター(Eco Centre)運営
- タンガルーマ・エコマリーンズの運営・教育サポート CSR 活動



2泊3日 マリンアクティビティ体験を取り入れた人気コース

DAY1	17:00 18:15 18:30 19:30	ブリスベンワーフより出港（所要時間 約 75 分） タンガルーマリゾート到着 ディナー チェックイン
DAY2	07:00 – 08:30 09:00 – 10:30 11:00 – 12:00 12:00 – 13:00 PM 17:30 – 18:30 日没後	パフェスタイルブレイクファースト 4WD デザートサファリツアー モートン湾海洋生物&自然環境保護プレゼンテーション ランチ <ローテーションにて> 選択アクティビティ <ul style="list-style-type: none"> マリンディスカバリー・クルーズ（最少 6 人、最大 40 人） 沈船シュノーケリングツアー（最少 6 人、最大 45 人） ディナー 野生イルカ餌付け体験
DAY3	07:00 – 08:00 08:00 08:30 09:45 10:30	パフェスタイルブレイクファースト チェックアウト後、棧橋へ集合 タンガルーマリゾート出発 ブリスベンワーフ到着 荷物受け取り

推奨グループサイズ	大型、中型向け
対応可能人数	20-200 名 80 名を超えた場合は 2 グループに分割して午前・午後ローテーションにて催行
コース特徴	屋外でのアクティビティ体験を重視した人気コース。全員参加デザートサファリツアーと選択型マリンアクティビティでの大自然体験に、一番人気講義のモートン島海洋生物プレゼンテーションを組み込んだ定番コース。
体験バランス	学習体験 ☆☆(2割) アクティビティ体験 ☆☆☆☆☆☆☆☆(8割)
見積もり依頼用コード	2N3DPKG2

2泊3日 タンガルーマ SDGs 学習・モデルコース

DAY1	17:00 – 18:00 18:15 – 19:15 18:30 – 19:30 19:30	ブリスベンワーフより出港（所要時間 約 75 分） タンガルーマリゾート到着 ディナー チェックイン
DAY2	07:00 – 08:30 09:00 – 10:00 10:00 – 11:00 12:00 – 13:00 14:00 – 15:30 15:45 – 16:45 17:00 – 18:00 日没後	パフェスタイルブレックファースト モートン湾海洋生物&自然環境保護プレゼンテーション タンガルーマ SDGs プレゼンテーション&見学ツアー ランチ マリンディスカバリー・クルーズ ブッシュタッカー・ウォーク ディナー 野生イルカへの餌付け
DAY3	07:00 – 08:00 08:00 08:30 09:45 10:30	パフェスタイルブレックファースト チェックアウト後、棧橋へ集合 タンガルーマリゾート出発 ブリスベンワーフ到着 荷物受け取り

推奨グループサイズ	中型、小型向け
対応可能人数	10-80 名 40 名を超えた場合は 2 グループに分割してローテーションにて催行
コース特徴	タンガルーマが取り組む環境系 SDGs 学習に取り組んだ学習要素が高いプログラムで、10 人からの団体にもアレンジ可能。モートン湾海洋生物 & 環境保護プレゼンテーションでインプットした学習を、海洋に出てマリンディスカバリー・クルーズから海洋生物が自然界で生息する姿を観察したり、野生イルカ餌付けに参加して目の前で野生イルカに対面したりと、座学と実体験の関連性があるコンビネーションプログラムです。SDGs ウォークではタンガルーマが取り組む自然界と共存共栄し持続可能なエコリゾートの現場をご案内します。
体験バランス	学習体験 ☆☆☆☆☆☆☆☆ (8割) アクティビティ体験 ☆☆ (2割)
見積もり依頼用コード	2N3DPKG4

2泊3日 環境系 SDGs・探求学習 「エコマリーンズ・チャレンジ」

渡航前	事前学習・準備	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでの「タンガルーマ SDGs 事前学習」プログラム受講 自然・環境保護を探究課題に向けてプロジェクトチーム編成 英語を使ってタンガルーマでの研究課題発表方法の選択とその準備 現地校エコマリーンズの運営スタッフの活動内容と体験談を動画で視聴
DAY1	10:00 11:15 12:00 – 13:00 14:00 14:30 – 15:30 15:30 – 16:30 17:00 – 18:00 日没後	ブリスベンワーフより出港（所要時間 約 75 分） タンガルーマリゾート到着 ランチ チェックイン モートン湾海洋生物&自然環境保護プレゼンテーション タンガルーマ SDGs プレゼンテーション&見学ツアー ディナー 野生イルカ餌付け体験
DAY2	07:00 – 08:30 09:00 – 10:30 12:00 – 13:00 14:00 – 14:45 15:30 – 17:00 18:00 – 19:00	パフェスタイルブレックファースト マリンディスカバリー・クルーズ ランチ モートン島地質学プレゼンテーション 4WD デザートサファリツアー ディナー
DAY3	07:00 – 08:30 09:00 09:00 – 11:00 11:15 12:00 – 13:00 13:00 – 15:00 15:30 16:00 17:15 17:45	パフェスタイルブレックファースト チェックアウト アクティブチャレンジ 英語での研究課題発表(又は質疑応答タイム) ※所要時間は発表人数・方法により異なります 野鳥ペリカン餌付け見学 ランチ 集合まで自主研修 棧橋へ集合 タンガルーマリゾート出発 ブリスベンワーフ到着 荷物受け取り

推奨グループサイズ	中型、小型向け
対応可能人数	10-80 名 40 名を超えた場合は 2 グループに分割してローテーションにて催行
コース特徴	渡航前にタンガルーマでの SDGs 取り組みを日本語にてオンライン講習を行い、渡航までの期間に生徒が主体的に身の回りの環境保護について探求学習を行いオーストラリアでの研究発表の準備、そしてタンガルーマでは英語で発表するというプログラム。発表も英語力によって発表方法が選択可能で、上級者はパワーポイントでのプレゼンテーションやポスター利用での発表、または英語が苦手な場合には研究課題について英語を使って簡単な Q&A スタイルのディスカッションだけでも対応できます。英語での質疑応答はタンガルーマ・エジュケーション&コンサベーションセンターのエコレンジャーガイドが英語で行います。リゾート滞在中には人気の高いエコスタディ学習と大自然でのアクティビティ体験も組み入れております。
体験バランス	学習体験 ☆☆☆☆☆☆(7割) アクティビティ体験 ☆☆☆(3割)
見積もり依頼用コード	2N3DPKG5

日本からの教育旅行研修団体 取扱実績

<2010年>

中学、高等学校	25校
専門学校	6校
大学	3校
その他	2団体
合計取扱人数	約 2,200 名

<2011年>

中学、高等学校	20校
大学	4校
その他	3団体
合計取扱人数	約 1,900 名

<2012年>

中学、高等学校	22校
大学	3校
その他	4団体
合計取扱人数	約 2,500 名

<2013年>

中学、高等学校	17校
専門学校	2校
大学	4校
その他	4団体
合計取扱人数	約 2,100 名

<2014年>

中学、高等学校	26校
小学校	2校
専門学校	3校
大学	4校
その他	5団体
合計取扱人数	約 2,600 名

<2015年>

中学、高等学校	22校
小学校	2校
専門学校	5校
大学	6校
その他	4団体
合計取扱人数	約 2,400 名

<2016年>

中学、高等学校	23校
小学校	2校
専門学校	2校
大学	7校
その他	4団体
合計取扱人数	約 2,600 名

<2017年>

中学、高等学校	21校
小学校	3校
専門学校	4校
大学	5校
その他	5団体
合計取扱人数	約 3,200 名

<2018年>

中学、高等学校	22校
小学校	3校
専門学校	4校
大学	3校
その他	5団体
合計取扱人数	約 2,700 名

<2019年>

中学、高等学校	20校
小学校	2校
専門学校	5校
大学	5校
その他	5団体
合計取扱人数	約 2,600 名

実施学校 先生方からの体験談

千葉県 私立高校
副校長先生

「世界でも希少な砂の島であるモートン島タンガルーマリゾートでは、他では経験できない野生イルカの餌付けや砂丘滑り等の体験と、英語による海洋環境学や地質学等の講義が効果的に組み合わせられた研修プログラムのみならず、国立公園の中の施設として自然環境への負荷を極力減らす工夫を見学できるバックヤードツアー等も用意され、本校でもこの3年間、教育的価値・生徒の満足度ともに極めて高い研修を行うことができました。」

奈良県 私立高校
教務部長

「オーストラリアへの修学旅行のプログラムにタンガルーマを取り入れて10年になりますが、とても魅力ある島です。安全な環境の中、3泊4日の間生徒たちが自由にアクティビティを体験したり、オーストラリアの環境や生物の学習をしたり、英会話にチャレンジすることもできます。そして、何よりも日本人スタッフのサポートが万全で、雨天の場合のアクティビティまでしっかり準備して頂けるところが最高です。」

京都府 私立高校
副校長先生

「こんなに素晴らしい島がこの世に自然のまま本当に存在するのが驚きです。海はコバルトブルーとエメラルドグリーンの縞模様が織りなす絶景で、南国特有の樹木が生え、限りない開放感に浸ることができます。ホテルもシンプルですが清潔感に溢れています。島で働く方々も親切で、アクティビティもバナナボートやバギー、砂滑りなど他にもたくさんあり、充実しています。食事をとる場所もゆったりとした建物があり、食事もなかなか美味しいです。夕刻から夜には野生イルカを間近でみることもできます。今年タンガルーマを経験した生徒たちは、島を離れるのを本当に惜しんでいました。研修旅行でゴールドコーストを訪れるならば、是非ともこのタンガルーマをコースに入れることをお勧めします。船に乗る時間もそんなに長くありませんので、この島は生徒たちにとっても、大人の私たちにとっても、ずっと記憶に残る場所だと思います。」

宿泊施設

1室4名様まで宿泊可能なホテルタイプから、高級アパートメントまで。
合計 300 室以上の客室完備しており、大型修学旅行の取扱も可能。

<ホテルタイプ Kookaburra Lodge>

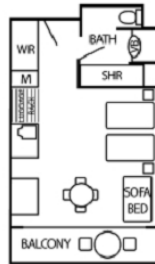


ホテルタイプ 外観(5階建)



スタンダードタイプ 室内

HOTEL



フロアプラン(イメージ)

特徴: 5階建てのビルディングスタイル。
スタンダードルームでは、エクストラベッドの利用で、4つのベッドのセットアップができ、一部屋で大人4名の宿泊も可能。学生団体や、ご家族でのご利用では、4名シェア利用にする事で、料金を抑える事ができます。デラックスルームは、最上階に位置し、モートンベイが展望できる、海が見えるお部屋になっております。

客室: 全96室

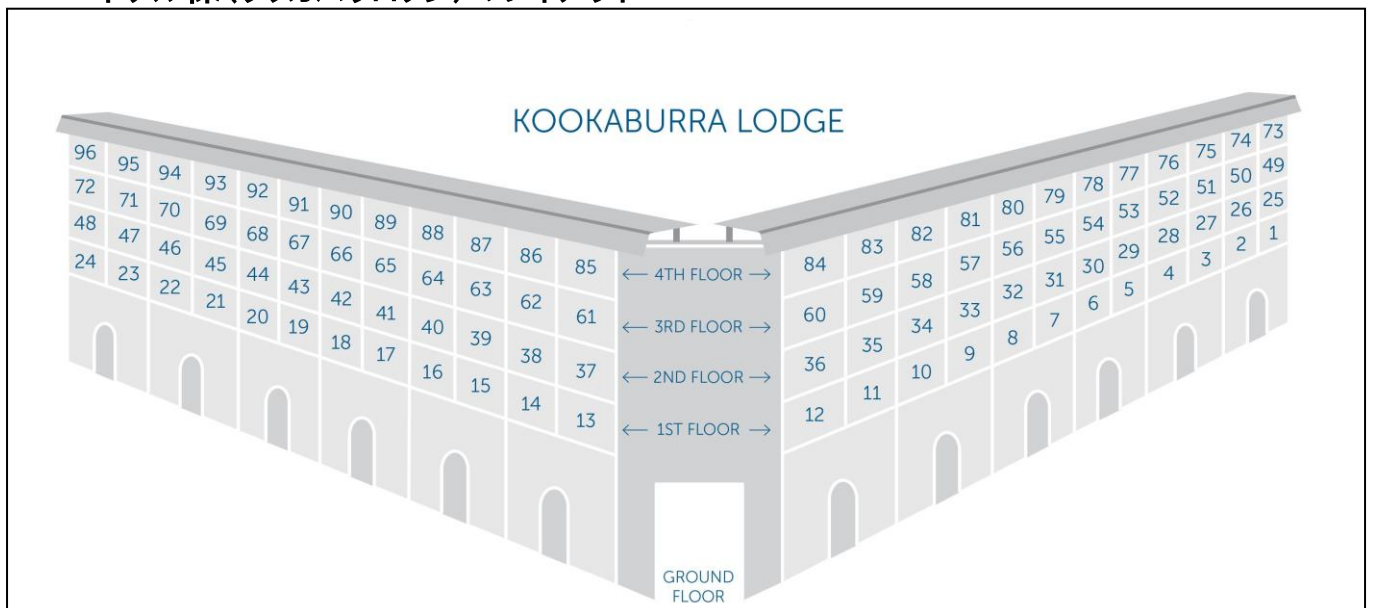
デラックスルーム 24室 最上階/スタンダードルーム 72室 1,2,3階
(内ハンデキャップルーム スタンダード6室、デラックス2室)

広さ: 約 34sqm (バルコニー含む)

スタンダードルームは、ツインタイプ又は、キングサイズでのご利用。デラックスルームは、キングサイズベッドのみのご利用になります。

室内: エアコン、冷蔵庫(ミニバー無)、バスルーム(シャワーオンリー)、ボディソープ、シャンプー & コンディショナー、ハンドソープ、シェービングクリーム、ローション、湯沸しポット、コーヒー & 紅茶、電話、ヘアドライヤー、テレビ、DVD プレイヤー
* デラックスルームには、スリッパ、バスロープのご用意もございます。

ホテル棟(クッカバラロッジ)のレイアウト



救急医療連絡体制

